

第5学年1組 外国語学習指導案

令和5年11月9日（木） 第5校時

場所 英語ルーム

授業者 T1 教諭

島崎 斐可

T2 英語講師 栗田 ルズヴィミンダ

1 単元名 Unit 2 Lesson 5 I play soccer on Mondays. 月曜日には何をする？(CROWN Jr. ⑤)

2 単元について

CROWN Jr. は1つのUnitが「HOP→STEP→JUMP」の順に構成されている。2学期のUnitの最終ゴールにPresentation 2(JUMP)で他者紹介を設けている。そこで、Unit内の各Lessonで学んだことを活用し、先生にインタビューを行い、クイズ形式にして先生について他の友達に発表することを具体的なUnitの最終ゴールとして設定できる。本単元の学習内容はその過程として非常に有効である。本単元を通して、主として教科や課外活動の伝え方について学習していく。4年生のLet's Try! 2のUnit 3で一週間の予定に慣れ親しんでいるため、そこでの学びを想起させながら、Part 1では、When do you …?の問いに対して、On Wednesdays. のように短く答えられることをターゲットにして副詞句の言い方に慣れさせ、Part 2では教科に関する語彙を広げ、Part 3で〈I 動詞(句) on 曜日.〉の文にして表現することに取り組ませることができる。このような段階を追っていくことで、ターゲット表現を無理なく習熟させることができる単元構成となっている。

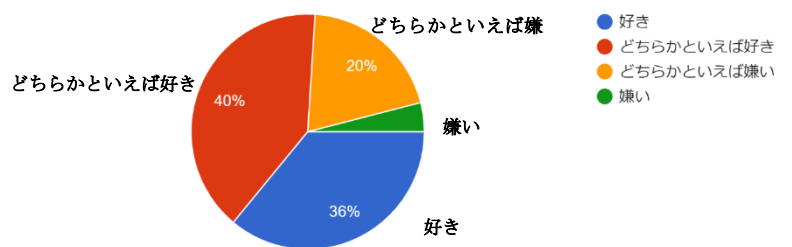
3 児童の実態について

本学級の児童は、どの活動にも大変意欲的で、外国語の授業でも積極的に英語を話そうとする児童が多い。

事前に行ったアンケートでは、約8割の児童が外国語の授業が「好き」「どちらかといえば好き」と回答した。一方、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた児童は、「発音が苦手・難しい」と感じており、その不安を取り除いていく必要がある。

また、「今英語を習っている（もしくはかつて習っていた）子」が26人中11人もいる。英語に学校の授業でしか触れていない子とのギャップをどう埋めていくかも課題である。

②外国語の授業は好きですか。
25件の回答



本学級の児童はI likeの言い方や曜日には慣れ親しんでおり、聞いたり話したりすることができる。しかし、これまでの学習において、教科名などの長い単語になると聞いて理解は示すものの、発音に自信が持てなかったり、質問に対してrecorderやsoccerなど、単語で相手に伝えることはできるが、文で答えようとするときIやplayが抜けたりなど、正確に伝える力は乏しいといえる。本単元では、Part 3でI play soccer on Mondays. など一文で表現させようとするとき、つまりくことが予想される。そこでALTの話を繰り返し聞かせたり、失敗を認めたり、学級内の学習の雰囲気づくりにも配慮しながら、児童に自信を持たせていく。ICTを活用した言語活動や中間指導を適宜行いながら、文で自分の本当の気持ちを表現しようとする児童を増やすための指導を行っていく。

4 単元の目標

クラスメイト同士さらに仲良くなるために、普段どんなことをするのかや習慣、楽しみにしている教科などを伝え合うことができる。

- ・普段よくすることや習慣、好きな教科を言ったり、聞いたりすることができる。 【知識及び技能】
- ・普段よくすることや習慣、好きな教科を伝え合うために、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手にわかりやすいように工夫して伝えたり、相手の話を聞いたりする。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・普段よくすることや習慣、好きな教科を伝え合うために、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手にわかりやすいように工夫して伝えようとしたり、相手の話を聞こうとしたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】

5 単元の評価規準

(本単元における「話すこと[発表]」、「読むこと」、「書くこと」については目標に向けて指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	聞くこと (☐ 聞)	話すこと[やり取り] (☐ や)
知識・技能		①普段よくすることや習慣、好きな教科などを伝え合う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	①相手をよく知るために、普段よくすることや習慣について推測しながら聞き、話の概要を聞き取っている。	①自分のことをさらに知ってもらうために、普段よくすることや習慣、楽しみにしている教科などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	①相手をよく知るために、普段よくすることや習慣について推測しながら聞こうとしたり、話の概要を聞き取ろうとしたりしている。	①自分のことをさらに知ってもらうために、普段よくすることや習慣、楽しみにしている教科などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちを伝え合おうとしている。

6 単元計画（6時間扱い）

時	◆目標 ○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準<評価方法>
1	◆ある教科が何曜日にあるかを尋ねる表現や、その答え方を聞き取ることができる。				
	○Sound Chant ○パノラマ ○活動① ○実世界の英語				※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。

2	◆ある教科が何曜日にあるかを尋ねる表現や、その答え方がわかり、質問し伝え合うことができる。			
	○Sound Chant ○パノラマ ○活動② ○実世界の英語			※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。
3 本時	◆どの教科が好きか尋ねる表現や、その答え方がわかり、質問し伝え合うことができる。			
	○Word Chant ○パノラマ ○活動② ○Enjoy Reading			※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導を行う。児童の学習状況を記録には残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。
4	◆特定の曜日に普段どんな教科を勉強するのか尋ねる表現や、その答え方に気づき、互いに伝え合うことができる。			
	○Word Chant ○パノラマ ○活動(インフォメーションギャップ) ○Enjoy Reading	や		◎普段よくすることや習慣、好きな教科などを伝え合う技能を身に付けている。 ＜行動観察・振り返り＞
5	◆特定の曜日に普段どんなことをするのかを尋ね、相手の答えを聞き取ることができる。			
	○Word Chant ○パノラマ ○活動① ○Enjoy Listening		聞	◎普段することについて推測しながら聞き、話の概要を聞き取っている。 ◎普段することや習慣について推測しながら聞こうとしたり、話の概要を聞き取ろうとしたりしている。
6	◆特定の曜日に普段どんなことをするのかを尋ねる表現や、その答え方を理解して、伝え合うことができる。 ◆明日の時間割で楽しみにしている教科を書いて、伝え合う。			
	○Word Chant ○パノラマ ○活動② ○Listen & Write	や	や	◎普段よくすることや習慣、楽しみにしている教科などについて、既習事項を用いて、考えや気持ちを伝え合っている。 ＜行動観察・振り返り＞ ◎普段よくすることや習慣、楽しみにしている教科などについて、既習事項を用いて、考えや気持ちを伝え合おうとしている。

7 本時の学習

- (1) 目 標 どの教科が好きか尋ねる表現や、その答え方がわかり、質問し伝え合うことができる。
- (2) 教 具 デジタル教科書、ピクチャーカード、タブレット（ロイロノート）
- (3) 展 開（3／6）

課程	児童の活動	・指導者の活動 ◎評価＜方法＞
導入 (8分)	1. 挨拶 2. Ms. Kurita's Time その他の児童は復習や Word Chant 〔授業のここを見てください①〕 ALTは本校に対して十分な理解があり、T1との打ち合わせから、児童の学習レベルも理解しつつ、話題を展開する。	【T2 (ALT)】 ・英語講師と今日の児童5人は隣の部屋へ移動しこの字に準備した机に座り、ALTを囲み5分間のお話タイム T) Do you like ~? / What food do you like? S) I like ~. →児童の答えから話題を発展させて会話を展開 【T1】 ・ICTを活用したチャンツ Today's GOAL: 「好きな教科は何？」を答えられるようにしよう。
展開 (30分)	3. パノラマ (Stand up game) 音声聞いて概要をとらえる。 4. 活動① クラスの時間割を確認しながら、教科の言い方を思い出す。 〔授業のここを見てください②〕 児童の思考を促す「活動①から活動②」への展開。 質問文やその文構造への理解を暗示的に行い、気づきを促す。その手立てとして、児童の返事を①受け止める ②共感する③T1の考えを伝える④それに共感するか質問する これにより、自分の好きな教科を文で伝えればよいことに気づかせる。 5. 活動② 自分の好きな教科を文にして言う。	【T1】 ・音声を聞いた後に全員立たせ、聞こえた音と言った子から座らせていく。 ・一度言った語句でも構わないことを知らせる。 【T2 (ALT)】 ・今日の時間割を英語で確認する。その際、Do you like ~?などと既習事項を使ったやり取りする。 ・他の曜日にしかない教科の言い方も確認する。 ・一通り出たら、英語講師【T2 (ALT)】とやり取りしながらデモンストレーションを見せる。 - T2) What subjects do you like? - T1) I like ~, ~, and ~. の言い方を何度も聞かせる。 - T2→S1, S2と何人かの児童を指名し、好きな教科を複数言わせていく。 ・教科を単語だけで伝えることも認める。 ・文章で答えようとする児童を褒める。 ・T1とT2が質問したあと、児童の答えを聞いて、受容しながら、児童によってリキャストしたり、その受け止めたり、教師の自己開示をして別の児童へ質問する、繰り返し行い、児童のインプットの時間とする。 ・慣れてきたら、尋ねる表現も使い、全員言わせる。

	〔授業のここを見てください③〕 中間指導を入れる。 机間指導で、困っている児童を見つける。困り感を全体で共有し、児童に答えを導き出させる。 ペアを替えてもう一度、行わせる等、繰り返し行う。 →自信をもってコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 6. Enjoy Reading 文字を見ながら音声を聞いて、概要をとらえる。	・ロイロノートで好きな教科カードを 3 枚ほど選ばせる。 ・自分のタブレットを見せながら、隣の子と好きな教科を尋ね合う。ペアを替えて何度も行う。 ・同じ教科が好きな子を見つけられたか確認する。 ・内容を確認し、読めるところを一緒に読むよう促す。												
まとめ (7分)	7. Writing 自分の好きな教科を書き写す。 8. 振り返り ロイロノートで振り返りを記入し、提出する。 9. 挨拶	・明日の時間割で楽しみにしている教科をワークシートに書き写すよう指示し、支援する。 ①次の項目を振り返り、当てはまるところに○をつけましょう。 <table><tr><td>Word Chantをリズムに合わせて言うことができたか。</td><td>◎</td><td>○</td><td>△</td></tr><tr><td>友だちと好きな教科を伝え合うことができたか。</td><td>◎</td><td>○</td><td>△</td></tr><tr><td>Enjoy Readingを、イラストを見ながら聞いて意味が分かりましたか。</td><td>◎</td><td>○</td><td>△</td></tr></table> ②できたことや新しく知ったこと、次にかんばりたいことなどを書きましょう。	Word Chantをリズムに合わせて言うことができたか。	◎	○	△	友だちと好きな教科を伝え合うことができたか。	◎	○	△	Enjoy Readingを、イラストを見ながら聞いて意味が分かりましたか。	◎	○	△
Word Chantをリズムに合わせて言うことができたか。	◎	○	△											
友だちと好きな教科を伝え合うことができたか。	◎	○	△											
Enjoy Readingを、イラストを見ながら聞いて意味が分かりましたか。	◎	○	△											